

数 量 表

令和8年度管渠布設工事補助第2工区(補助)

光市 島田五丁目 地内

(補助区間)

工種	規格1	規格2	単位	算出数量	積算数量	備考
本工事費						
管路						
管きよ工(開削)						
管路土工						
管路掘削						
機械掘削工(バックホウ)			m3	122.72	123	
管路埋戻						
機械投入埋戻工(バックホウ)	流用土		m3	76.00	76	
機械投入埋戻工(バックホウ)	良質土埋戻 流用土		m3	11.68	12	
流用土仮置き						
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	97.42	97	
積込(ルーズ)	土砂	小規模(標準)	m3	97.42	97	
土砂等運搬	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	m3	97.42	97	
発生土処理						
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	25.30	25	
積込(ルーズ)	土砂	土量50,000m3未満	m3	25.30	25	
土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	25.30	25	
処分費	建設残土	産廃税対象外	m3	25.30	25	
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管布設工	呼び径 200mm		m	62.20	62.2	
マンホール用可とう継手			個	6	6	
管基礎工						
砂基礎						
砂基礎工(機械施工)			m3	22.07	22	
管路土留工						
軽量鋼矢板土留						
軽量鋼矢板建込工(両側分)			m	23.80	23.8	
軽量鋼矢板建込工(両側分)			m	41.10	41.1	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)			m	23.80	23.8	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)			m	41.10	41.1	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	23.80	23.8	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	23.80	23.8	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	41.10	41.1	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	41.10	41.1	
鋼矢板 賃料 H=2.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数4日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	1.474	1.5	
鋼矢板 賃料 H=2.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数4日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	0.243	0.2	
鋼矢板 賃料 H=3.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数8日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	3.406	3.4	
鋼矢板 賃料 H=3.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数8日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	5.882	5.9	
軽量金属腹起し水圧サポート支保材損料	支保工1段 30m施工材料		日	4	4	
軽量金属腹起し水圧サポート支保材損料	支保工2段 30m施工材料		日	8	8	
マンホール工						
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
組立1号マンホール	1号(内径900mm) 深さ3m以下		箇所	3	3	
下水道用铸铁製マンホール蓋(JSWAS G4)			組	3	3	
底部工(組立式)(組立1号マンホール)			箇所	2	2	
モルタル上塗り(マンホール用)			m ²	1.48	1	0.74×2
底部工(組立式)(組立1号マンホール)			箇所	1	1	
1号マンホール(I種) 底版			個	3	3	

1号マンホール (I種) 管取付け壁			個	1	1
1号マンホール (I種) 管取付け壁			個	2	2
1号マンホール (I種) 斜壁			個	3	3
調整金具			組	1	1
調整金具			組	2	2
調整リング			個	1	1
調整リング			個	2	2
無収縮モルタル			袋	3	3
削孔費			箇所	3	3
副管					
内副管取付工			箇所	1	1
内副管用マンホール継手			個	1	1
VUφ150 PE直管			本	1	1
下水道用硬質塩化ビニル管継手			個	1	1
取付管およびます工					
管路土工					
管路掘削					
機械掘削工(小型バックホウ)			m3	4.86	5
管路埋戻					
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	流用土		m3	1.83	2
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	良質土埋戻	流用土	m3	0.81	0.8
発生土処理					
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	1.93	2
積込(ルーズ)	土砂	土量50,000m3未満	m3	1.93	2
土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	1.93	2
処分費	建設残土	産廃税対象外	m3	1.93	2
取付管布設工					
取付管					
取付管布設および支管取付工	管径 150mm		箇所	3	3
VUキャップ			個	3	3
付帯工					
舗装撤去工					
舗装版切断					
舗装版切断	アスファルト舗装版	アスファルト舗装版厚15cm以下	m	281.50	282
舗装版切断排水・冷却排水処分費	補助区間		式	1	1
舗装版破砕					
舗装版破砕	アスファルト舗装版	障害等無し 舗装版厚15cm以下	m2	157.13	157
殻運搬処理					
殻運搬	舗装版破砕	DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	m3	5.66	6
処分費	As殻(密粒粗粒)	中間処理(余材の産廃税相当額を含む)	t	13.03	13
道路復旧工					
不陸整正					
不陸整正	補足材料有り M-30	補足材料平均厚さ6mm以上11mm未満	m2	95.50	96
下層路盤					
下層路盤(歩道部)	全仕上り厚110mm 1層施工	RC-30	m2	61.63	62
上層路盤					
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚70mm 1層施工	M-30	m2	61.63	62
表層					
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m以上3.0m以下	1層当り平均仕上り厚40mm	m2	90.86	91
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	1層当り平均仕上り厚40mm	m2	4.64	5
仮舗装					
表層(歩道部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	1層当り平均仕上り厚30mm	m2	61.63	62

事業損失防止施設費						
役務費						
回航費						
運搬費						
運搬費						
運搬費						
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬	運搬距離 2.4km	製品長 12m以内	式	1	1	
準備費						
技術管理費						
営繕費						
水害傷害保険料						
安全費						
現場環境改善費						
工期延長に伴う増加費用						
その他積上げ費用						

内副管設置工数量表

(補助工区)

種 別	規 格	既設 No.5								数 量
			1							1 箇所
段 差 h			0.750							
内副管用 マンホール継手	200×150		1							1 個
PE直管			0.32							0.32 m 1 本
90° 曲管	φ 150 90ST		1							1 個
固定バンド	φ 150		1							1 個
備 考	固定バンド(1箇所)は内副管用マンホール継手に含まれる									

取付管工数量表

VU φ 150mm

(補助工区)

	舗装構成		取付管 合計延長 m	舗 層 版 厚 m	本 管 土 被 m	公 共 溝 深 さ m	A	A'	B	C		A'×B×C	取付管合計延長(m)		同 径 可 と う 支 管	ア ン カ ン ト ウ 支 管	キ ャ ン プ	備 考
	掘削 深さ m	除As 版掘削 深 m					掘削 幅 m	掘 削 延 長 m		掘削 土量 m3	可 と う 性 支 管 有	可 と う 性 支 管 無						
								掘削 深さ m	掘削 幅 m				掘削 土量 m3	掘削 土量 m3				
既設 No.15 - No.5	右 1	車道	4.00	0.04	1.26	0.90	1.18	1.14	0.55	4.00 - 0.45 × 1	3.55	2.23	1				1	配管延長
	MH																	8.70 m
No.19 - No.20	左	車道																掘削 0.13m3BH
	右	車道																4.86 m3
No.19 - No.20	MH																	捨土処理
	左	車道																4.86 - (1.83 + 0.81 +) ÷ 0.90*
既設 No.20 - No.21	右 1	車道	2.70	0.04	2.17	0.90	1.30	1.26	0.55	2.70 - 0.45 × 1	2.25	1.56	1				1	= 1.93 m3 (土量変化率C(砂質土))
	MH																	直管延長
既設 No.20 - No.21	左 1	車道	2.00	0.04	2.17	0.90	1.30	1.26	0.55	2.00 - 0.45 × 1	1.55	1.07	1				1	8.70 ÷ 4 (m/本) = 3 本
	MH																	埋戻 流用土
																		4.86
																		- 0.55 × (0.57 + 0.18) × 7.35
																		- 0.55 × (0.57 + 0.26) × 0.00
																		乗入B - 0.55 × (0.57 + 0.31) × 0.00
																		未舗装 - 0.55 × (0.57 + 0.06) × 0.00
																		= 1.83 m3
																		良質土埋戻 流用土
																		7.35 × (0.55 × 0.20) = 0.81 m3
																		砂基礎 購入砂
																		7.35 × (0.37 × 0.55
																		- 0.17 × 2 × 3.14 ÷ 4)
																		= 1.33 m3
計	3		8.70									7.35	4.86	3				3

取付管付帯工数量表

付帯工(取付管)

(補助工区)

	延長	舗装版切断工		路盤工					表層工					取壊工					区画線				不陸 修正 m ²	
									仮舗装 t=0.03m		本舗装			仮舗装		本舗装			計		15cm			45cm
									b<1.4 m ²	b≥1.4 m ²	t=0.04m m ²	t=0.04m m ²	粗粒度 m ³	厚 m	密粒度 m ³	実線 m	破線 m	文字 m			実線 m			
									m	上厚 m	下厚 m	m ²	m ³	t	m	t	m ³	t	m	m	m	m		
既設 No.15 ~ No.5	1	4.00	3.05 × 2 2.80 × 2	11.70	0.07	0.11	3.05 × 0.55	1.68	1.68	2.80 × 0.91	2.55	0.05	0.11	0.04	0.10	0.24	0.15	0.35					2.55	
No.19 ~ No.20																								
既設 No.20 ~ No.21	2	4.70	2.80 × 2 2.30 × 2	10.20	0.07	0.11	2.80 × 0.55	1.54	1.54	2.30 × 0.91	2.09	0.05	0.11	0.04	0.08	0.19	0.13	0.30					2.09	
計	3	8.70		21.90				3.22	3.22		4.64						0.28	0.65					4.64	
										舗装版 破碎	7.86													

数量表

令和8年度管渠布設工事補助第2工区(单独)

光市 島田五丁目 地内

(単独区間)

工種	規格1	規格2	単位	算出数量	積算数量	備考
費目X6000						
管路						
管きよ工(開削)						
管路土工						
管路掘削						
機械掘削工(バックホウ)			m3	83.14	83	
管路埋戻						
機械投入埋戻工(バックホウ)	流用土		m3	38.50	39	
機械投入埋戻工(バックホウ)	良質土埋戻 流用土		m3	11.16	11	
流用土仮置き						
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	55.18	55	
積込(ルーズ)	土砂	小規模(標準)	m3	55.18	55	
土砂等運搬	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)	m3	55.18	55	
発生土処理						
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	27.96	28	
積込(ルーズ)	土砂	土量50,000m3未満	m3	27.96	28	
土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	27.96	28	
処分費	建設残土	産廃税対象外	m3	27.96	28	
管布設工						
硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管布設工	呼び径 200mm		m	60.80	60.8	
マンホール用可とう継手			個	2	2	
管基礎工						
砂基礎						
砂基礎工(機械施工)			m3	21.08	21	
管路土留工						
軽量鋼矢板土留						
軽量鋼矢板建込工(両側分)			m	62.00	62.0	
軽量鋼矢板引抜工(両側分)			m	62.00	62.0	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	62.00	62.0	
土留支保工(軽量金属支保工)			m	62.00	62.0	
鋼矢板 賃料 H=2.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数9日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	3.841	3.8	
鋼矢板 賃料 H=2.0m	軽量鋼矢板 1型 供用日数9日	当初より切断を行わず撤去する場合	t	0.634	0.6	
軽量金属腹起し水圧サポート支保材損料	支保工1段 30m施工材料		日	9	9	
マンホール工						
組立マンホール工						
組立1号マンホール						
削孔費			箇所	2	2	
小型マンホール工						
小型マンホール						
小型マンホール工(塩化ビニル製)	マンホール径300mm 起点および中間形式	深さ2m以下 本管径150mm~200mm	箇所	2	2	
鋳鉄製防護蓋(JSWAS G-3)			組	2	2	
取付管およびます工						
管路土工						
管路掘削						
機械掘削工(小型バックホウ)			m3	20.89	21	
管路埋戻						
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	流用土		m3	6.89	7	
機械投入埋戻工(小型バックホウ)	良質土埋戻	流用土	m3	3.73	4	
発生土処理						

発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)			m3	9.09	9
積込(ルーズ)	土砂	土量50,000m3未満	m3	9.09	9
土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	m3	9.09	9
処分費	建設残土	産廃税対象外	m3	9.09	9
取付管布設工					
取付管					
取付管布設および支管取付工	管径 150mm		箇所	6	6
取付管布設および支管取付工	管径 150mm		箇所	3	3
VUキャップ			個	9	9
付帯工					
舗装撤去工					
舗装版切断					
舗装版切断	アスファルト舗装版	アスファルト舗装版厚15cm以下	m	361.30	361
舗装版切断排水・冷却排水処分費			式	1	1
舗装版破砕					
舗装版破砕	アスファルト舗装版	障害等無し 舗装版厚15cm以下	m2	183.55	184
殻運搬処理					
殻運搬	舗装版破砕	DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	m3	6.62	7
処分費	As殻(密粒粗粒)	中間処理(余材の産廃税相当額を含む)	t	15.24	15
道路復旧工					
不陸整正					
不陸整正	補足材料有り M-30	補足材料平均厚さ6mm以上11mm未満	m2	111.55	112
下層路盤					
下層路盤(歩道部)	全仕上り厚110mm 1層施工	RC-30	m2	72.00	72
上層路盤					
上層路盤(歩道部)	全仕上り厚70mm 1層施工	M-30	m2	72.00	72
表層					
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m以上3.0m以下	1層当り平均仕上り厚40mm	m2	86.80	87
表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	1層当り平均仕上り厚40mm	m2	24.75	25
仮舗装					
表層(歩道部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	1層当り平均仕上り厚30mm	m2	72.00	72
事業損失防止施設費					
役務費					
回航費					
運搬費					
運搬費					
運搬費					
運搬費					
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等) 運搬	運搬距離 2.4km	製品長 12m以内	式	1	1
準備費					
技術管理費					
當繕費					
水雷傷害保険料					
安全費					
現場環境改善費					
工期延長に伴う増加費用					
その他積上げ費用					

小型マンホール工数量表

小型塩ビマンホール

(単独工区)

M H 番 号	M H 深 m	流出管			流入管			蓋		キ ャ ッ プ	備 考	
		径 mm	管底高	管 種	径 mm	管底高	管 種	内蓋	防護蓋			
								300 個	T-			
No.29	1.426	200	20.334	VU	150	20.334	VU	1	14		起点	
No.14	1.408	200	22.392	VU	150	22.392	VU	1	14		起点	
計	2							2			T-25	
											T-14	2
											T-8	

マンホール深 2.0m以下 本管径150mm～200mm 2

2.0m超～3.5m以下 本管径150mm～200mm

2.0m以下 本管径250mm

2.0m超～3.5m以下 本管径250mm

取付管工数量表

VUφ150mm

(単独工区)

	舗装構成		取付管 合計延長 m	舗 層 版 厚 m	本 管 深 さ m	公 共 樹 深 さ m	A 掘 削 深 さ m	A' 除As 版掘削 深 m	B 掘 削 幅 m	C 掘 削 延 長 m		A'×B×C 掘削 土量 m ³	取付管合計延長(m)		同 径 可 と う 支 管	ソ ン ド 1 本 可 と う 機 手	キ ャ ッ プ	備 考
	箇 所	構 成								箇 所	箇 所							
													可分性支管有	可分性支管無				
既設 No.29 - No.9	右 2	車道	6.60	0.04	1.21	0.90	1.16	1.12	0.55	6.60 - 0.45 × 2	5.70	3.51	2				2	配管延長
	MH 2	車道	16.80	0.04	1.22	0.90	1.16	1.12	0.55	16.80 - 0.45 × 2	15.90	9.79		2			2	38.00 m
	左 1	車道	2.60	0.04	1.21	0.90	1.16	1.12	0.55	2.60 - 0.45 × 1	2.15	1.32	1				1	掘削 0.13m ³ BH
No.14 - No.15	右 3	車道	9.00	0.04	1.22	0.90	1.16	1.12	0.55	9.00 - 0.45 × 3	7.65	4.71	3				3	20.89 m ³
	MH 1	車道	3.00	0.04	1.20	0.90	1.15	1.11	0.55	3.00 - 0.45 × 1	2.55	1.56		1			1	捨土処理
	左																	20.89 - (6.89 + 3.73 +) ÷ 0.90 [*] = 9.09 m ³ (土量変化率C(砂質土))
																		直管延長
																		38.00 ÷ 4 (m/本) = 10 本
																		埋戻 流用土
																		20.89 - 0.55 × (0.57 + 0.18) × 33.95 - 0.55 × (0.57 + 0.26) × 0.00 乗入B - 0.55 × (0.57 + 0.31) × 0.00 未舗装 - 0.55 × (0.57 + 0.06) × 0.00 = 6.89 m ³
																		良質土埋戻 流用土
																		33.95 × (0.55 × 0.20) = 3.73 m ³
																		砂基礎 購入砂
																		33.95 × (0.37 × 0.55 - 0.17 × 2 × 3.14 ÷ 4) = 6.14 m ³
計	9		38.00									33.95	20.89	6	3		9	

取付管付帯工数量表

付帯工(取付管)

(単独工区)

	延長	舗装版切断工		路盤工					表層工					取壊工					区画線				不陸 修正 m ²			
									仮舗装 t=0.03m		本舗装			仮舗装		本舗装			計		15cm			45cm		
									b<1.4	b≥1.4	t=0.04m	t=0.04m	粗粒度	厚	密粒度	実線	破線	文字			実線					
									m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	t	m	m ³	t	m ³	t	m		m	m	m
既設 No.29 ~ No.9	5	26.00	21.25 × 2 20.00 × 2	82.50	0.07	0.11	21.25 × 0.55	11.69	11.69		20.00 × 0.91	18.20			0.35	0.77	0.04	0.73	1.72	1.08	2.49					18.20
No.14 ~ No.15	4	12.00	8.20 × 2 7.20 × 2	30.80	0.07	0.11	8.20 × 0.55	4.51	4.51		7.20 × 0.91	6.55			0.14	0.31	0.04	0.26	0.61	0.40	0.92					6.55
計	9	38.00		113.30				16.20	16.20			24.75								1.48	3.41					24.75
											舗装版 破碎	40.95														

軽量鋼矢板数量表

種別	規 格			数 量
2.0m	全体施工延長	30.00 m分をリースする 矢板 240 枚		85.80 m
A	リース延長	3 回使用		m 25.75 m
	矢板枚数	25.75 m ÷ 0.25 m × 2 = 206 枚		
	鋼材重量	206 × 25.80 kg/枚		5.315 ton
B	リース延長	2 回使用		4.25 m
	矢板枚数	240 - 206 = 34 枚		
	鋼材重量	34 × 25.80 kg/枚		0.877 ton
	矢板1枚当り重量	I 型 W=250mm t=5mm 12.9 kg/m 2.0 mでは 25.80 kg/枚		
3.0m	全体施工延長	30 m分をリースする 矢板 240 枚		41.10 m
A	リース延長	2 回使用		11.00 m
	矢板枚数	11.00 m ÷ 0.25 m × 2 = 88 枚		
	鋼材重量	88 × 38.70 kg/枚		3.406 ton
B	リース延長	1 回使用		19.00 m
	矢板枚数	240 - 88 = 152 枚		
	鋼材重量	152 × 38.70 kg/枚		5.882 ton
	矢板1枚当り重量	I 型 W=250mm t=5mm 12.9 kg/m 3.0 mでは 38.70 kg/枚		
	軽量金属腹起し 1段目	30.0 m分 □70~80×115~130× 4,000 25.1 kg/本 16 本		0.402 ton
	軽量金属腹起し 2段目	30.0 m分 □110~120×120~130× 4,000 35.1 kg/本 16 本		0.562 ton
	水圧サポート 590~900	30.0 m分 調整長 590~900 8.1 kg/本 16 本		0.130 ton
	水圧サポート 450~650	30.0 m分 調整長 450~650 7.1 kg/本 16 本		0.114 ton
	鋼材運搬			
		計	補助	単独
軽量鋼矢板 2.0m	施工延長	85.80 m	23.80	62.00
	重量	6.192 ton	1.717	4.475
	使用回数 3回	5.315 ton	1.474	3.841
	使用回数 2回	0.877 ton	0.243	0.634
軽量鋼矢板 3.0m	施工延長	41.10 m	41.10	0.00
	重量	9.288 ton	9.288	0.000
	使用回数 2回	3.406 ton	3.406	0.000
	使用回数 1回	5.882 ton	5.882	0.000
軽量金属 支保工 1段目	施工延長 腹起し材	126.90 m	64.90	62.00
	重量	0.402 ton	0.205	0.197
	水圧サポート 重量	0.130 ton	0.066	0.064
軽量金属 支保工 2段目	施工延長 腹起し材	41.10 m	41.10	0.00
	重量	0.562 ton	0.562	0.000
	水圧サポート 重量	0.114 ton	0.114	0.000
	重量合計	24.428 ton	11.952	4.736